

問 買い物弱者への支援は

村上克朗議員



答 源流の里対策などで検討

Q 政府は「買い物弱者」の解消に取り組む。県も医療や看護など高年齢者対策に10月から県内3カ所の過疎地域で実証実験し、空き店舗の賃貸料や移動店舗に使う車両購入費を助成するが本町の対応は。

Q 給食の宅配サービスを受けている人への買い物支援策は。

Q 芳井油木線の道路改良と残土処理方法は。

Q 建設課長 残土処理は全体で3万㎡で今年度1万㎡処理する。県道改良は災害と併せて要請中である。

Q ゴミ・し尿処理費軽減のための対策は。

問 再生困難な源流の里対策は

木野山孝志議員



答 補助金から人的支援対策へ

Q 再生困難な源流の里対策は。

Q 豊松の三原医院が休院される。緊急を要する課題であるが対応は。

Q 平成21年度の黒字分1700万円の精算は。

Q 大変奥深く幅広い問題だ。理想とされるものは出来ないかもしれない。

Q 「計画書」は作成したい。観光施設の推進体制の充実を今後も図る。



集落支援委員と議会の懇談

問 予防ワクチンの接種に公費助成を

寄定秀幸議員



答 医師会とも協議し早急に対応する

Q 女性と子供の生命と健康を守るため、子宮頸ガン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンなどの予防ワクチン接種の無料化を実施すべきだ。

Q 臭気指数規制が10月1日から施行となつたが、大矢の産廃業者排出の煙や悪臭は一向に改善されていない、操業停止を含めた厳正な対応をすべきでは。

Q 帝釈峡遊歩道復旧整備を求める請願書が6,000人以上の署名を添えて提出されたがどう対応するのか。

Q ①中学校・高校の計画的継続的教育と油木高校の存続が目的だ。神石高原町中・高一貫教育検討委員会でも検討中だ。本年度中に方向性を示す。



議会での現地調査（柏岩橋）

問 来年度予算への意気込みは

丸山達夫議員



答 100億円以内に圧縮しソフト事業優先

Q 国も内外に多くの課題を抱え、財源不足に苦慮している。本町の来年度予算は本年度対比、増か減か。

Q 農業の強化策は。

Q 農産物の輸出に対し町としての対応は。

Q 補助金には、20ヘクタールの基準があり、基準に満たない場合は検討が必要である。



和牛の里 繁殖牛